



ひまわり通信

特定非営利活動法人 福岡地域福祉サービス協会
事業所； <訪問介護>ひまわり・巡回介護ひまわり・東・西・南
<デイサービス>ひまわりはらだ・柏の森 <ひまわり大楠>・リハビリデイ・小規模多機能・グループホーム



介護職員としてマナーとルールを厳守し、より良いサービスに努める



個別研修テーマ『精神障がい者の介護』

接し方：精神障がいといっても、種類も症状もさまざまです。同じ病名でも人によって異なります。
大事なのは**その人自身を知ろうとすること。**

1. 疾患別：双極性障害（躁うつ病）



躁状態

- ・ 傾聴し受け止める
- ・ テンションが高い状態なので、行動を責めるのではなく「眠れていますか？」など体を気遣う声掛けを行う。
- ・ 攻撃性が高い場合等、対応のルールを事前に事業所と本人の間で決めておく。



うつ状態

- ・ 躁状態時の言動、行動について責めない。
- ・ 自分の言動について振り返り落ち込む場合が多い。傾聴し受け止める。
- ・ 本人のペースを尊重。「頑張りましょう」等本人を後押しする様な声掛けはしない。

2. パニック障害



- ・ 常に気が張っている状態
- ・ 本人にとっての刺激を知る。何が不安なのか、環境要因などを事前に理解した上で支援を行う。刺激になるような発言、環境設定はしない。
- ・ 冷静に対処する。発作時に救急車を呼ぶのではなく、落ち着くまで寄り添うなど。慌てず、慌てさせない対応を行う。

3. 暴言の対応



- ・ ルールを設定しておく。「〇〇の時は支援しない」など、事前に本人とルールの確認をしておく。
- ・ 個人が対応するのではなく、事業所として対応を行う。

現場での対応

- ・ 障がいの方の訪問では、その日の希望のサービス内容をお聞きし、その日の体調に合わせて受け身になってゆっくり一緒に調理を行ったりした。
- ・ いつもと変わらない態度、笑顔で接するようしていました。早口にならず、ゆっくり会話するようしていました。
- ・ うつの方で布団にずっと寝てあり、顔を隠して話もなかったのが3か月続いた。必要以上に話しかけず、そっとしておいた。様子には注意をし変化が分かるよう意識した。
- ・ 毎回精神が安定されていると思わないことにしています。何かイラついておられる時はヒヤッとしますが、あまり声をかけずサービスを黙ってします。今忙しいから「しゃべらないで」と怒られた時は落ち込みますがその方の病気がそうさせているのだと自分を納得させます。
- ・ ちょっとした言葉遣いでカッとなられたことがありました。3か月くらいサービスに入りコミュニケーションがとれて心も開かれるようになり、どんなことでも相談され、対応できるようになりました。
- ・ 精神障がいの方に接して言葉に気を遣いました。落ち着いて対応を心掛けています。

学習を終えての感想

- ・ 精神障がいの方は、接し方が大変難しい。一人に対応する事は大変だと思う。
- ・ 以前精神障がいの方を担当していたことがあるが、非常に難しかった。体調が安定している時はいいが、感情の起伏が非常に激しく、上手くいっている時はいいが 一つ歯車が狂うと大変なことになりかねない。何事も経験が大事だと思った。
- ・ 精神障がいの利用者、今日はよくても明日はかわっている時もある。ルールに基づき1人の社会人として尊重し、信頼関係に努めていきたいです。
- ・ 気分がいい時と悪い時があるので無理に話しかけに行かず向こうから話してくれるのを待つ。言葉に注意する、悪い方にとられ誤解されるような言い方をしない。常に気をかけている事を伝え何かあったら話してもらえるような信頼関係を築く。

小規模多機能ホームひまわり大楠 リハビリデイひまわり大楠 グループホームひまわり大楠



2月は節分の季節、各事業所から「鬼は外～福は内～」の元気な声が響いていました。



リハビリデイひまわり大楠は、今年は住吉神社の初詣から賑やかにスタートしました。

グループホームも、住吉神社と大楠神社に初詣に行きました。



小規模多機能ホームは、いつも素晴らしい季節の壁飾りの力作が出来て、施設内は華やいています。



「鏡開き」では、無病息災を祈念して、お餅でぜんざいを作り、



なるべく字を書かせる機会を持つグループホームの年頭は書初めをしますが、筆使いに長けており皆さん立派な字を書かれます。



共有エレベーター内にも展示しており、訪問の方から称賛されています。



美味しく出来た手づくり干し柿に「いくらでも食べられる」と大喜びでした。

節分に向け、折り紙で作った恵方巻き、本物にしか見えません。



デイサービスひまわりはらだ



誕生者が多い月でした。最高齢は101歳、退院され、誕生日は過ぎていましたが、皆で盛大にお祝いました。



看護師さんが持ってきてくれた蒟蒻のとうを



鏡開きを行い、ぜんざいを作って食べました。



味噌炒めして昼食時にご飯にかけて食べました。



デイサービス柏の森ひまわりホーム柏の森ケアプランセンター柏の森

今年は年明け早々出来事が続き、柏の森でもコロナウイルス感染症のクラスターが発生。職員が一致団結し、なんとか乗り切りました。



デイサービスでは節分に豆まきを行ってみんなの健康を願いました。

暦の上では春！まだ寒い日もありますが、暖かい陽ざしが届くとウキウキします。毎日楽しく笑って過ごせる柏の森を目指して頑張ります。



--	--	--	--	--